

## センターだより



### 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

## 『好き』を育み、『得意』を伸ばす

2026・06・01

幼保こ小連携・接続研修会実施

「こどもがえらぶ・きめること」

園と学校の生活・学びのなかに、こどもたちが自ら選択・判断・決定していく場をどうひらくか

早稲田大学 名誉教授

小林宏己先生

令和8年5月29日幼児教育ワーキンググループ保育専門委員会資料3「幼児教育WG/保育専門委員会取りまとめ(案)」に、「1. 現行の成果・課題を踏まえた改善の方向性に、乳幼児が自らの「好き」や「得意」を見付けたり広げたり深めたりすることを支え、今次改訂で目指す、「『好き』を育み、『得意』を伸ばす」改善の方向性の基盤となる。」とあります。今年度は昨年よりさらに、幼保こ小連携・接続研修や公開保育・実践検討会において、小・中学校教職員、就学前教育・保育施設職員が共に学び合い、0歳から18歳までの「学び」を見通し、学びのつながりを意識し、共通理解を進めていきたいと思っています。先の6月1日に幼保こ小連携接続研修において、早稲田大学名誉教授の小林先生よりこどもの主体性を育むための学びの環境などについてご講演いただき、その後のワークショップでは園と学校の生活・学びのなかに、こどもが選択・判断・決定していく場について、実践や今後やってみたいことなどを話し合い模造紙に記録し、発表しました。



グループワークでは、園でのねらいや、子どもたちにつけたい力などを考えながら日々保育をしているという話をした。小学校では、先に目的を伝えるため、子どもたちの発見や気づきに丁寧に寄り添えていないように感じるという意見もあり、園での取り組みに驚かれることもあった。幼児期に育てて欲しい10の姿を園も学校も改めて意識しながら、互いの取り組みを話せたらより深い接続ができていくのではないかと思った。

また、講師の先生の話にあった、どうせできないではなく、だったらこうしたら？と言える子どもや、言おうとする意欲を育てられるような保育者でありたいと思う。(保育者)

こども自身が選択し決定できるようにするために、「経験させること」「こどもの発想を実現できる環境を整えること」が大切だと感じました。「どうせできないでしょ」「こんなことしてもいいの？」という諦めや不安につながらないよう努めていきたいと思っています。(小学校教職員)



## 第1回 おしゃべり会 実施

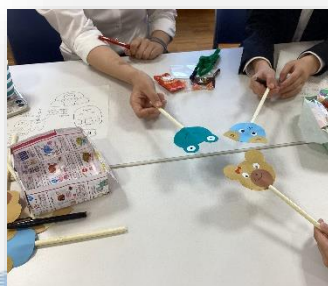
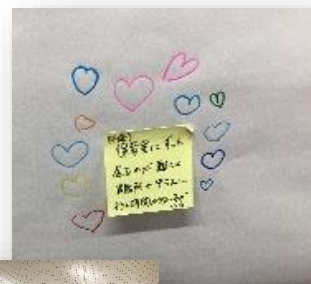
初級研修後、第1回おしゃべり会がありました。初級研修の後半では、ワークショップを通して、様々な「ある・ある」を共感したり、「どうしよう」を出しあい、「こうすれば」の解決の糸口を探ったりしました。

その後、おしゃべり会に参加し、手作り遊具を作ったり、館内を見学したり、職層が似た者同士で、ワイワイガヤガヤおしゃべりを楽しみました。

約2ヶ月間保育士として働いてみて、子どもと関わる中で毎日のように葛藤があり、悩むことがたくさんある中で、今回の研修で子どもとの信頼関係とは何か、その重要性について学ぶことができ、これまで自分が悩んできたことも子どもとの関係づくりにつながっているのかなと感じることができた。(初級研修アンケートより)

なかなか自分の理想の保育ができず、日々時間に追われたり、子どもが自分の話をなかなか聞いてくれなかったり、自信がなくなるような場面もあるが、視点を変えて考えてみると、子どもが自我を出している、甘えられている証拠かもしれないということを学び、今後は少し心に余裕をもって子どものありのままの姿を受け止めていけるようになりたいと思った。(初級研修アンケートより)

子どもたちにとって信頼できる大人とはどういう存在なのか、正解がたくさんあるのを理解した上で、自分なりに考えながら、今後子どもたちと関わっていきたいと思った。(初級研修アンケートより)



新採ならではの悩みを共有できて、悩みは自分だけじゃないこと、ひとりじゃないことを感じました。

研修後の制作コーナーも担当の子ども  
の喜ぶ姿を想像しながら作りました(^^) (月)  
からの保育に活かしていきたいと思いま  
す。(初級研修アンケートより)

いつでも、あなたの心に寄り添い、明日へのエネルギーチャージのために  
に伴走支援していきたいと思っています。幼児教育センターアドバイザー・  
架け橋期コーディネーターにご相談ください。

予告 第2回 おしゃべり会 7月7日17:00～ 開催予定

皆様のご参加お待ちしております